



◆国際サステナビリティ基準セミナー 第1弾

サステナビリティ情報開示の国際基準と 日本企業に期待される情報開示

2023年6月26日、IFRS財団傘下の機関であるISSB（国際サステナビリティ基準審議会）から、世界共通の最初のサステナビリティ情報開示基準となる「IFRS S1」「IFRS S2」が公表されました。サステナビリティ情報に対する開示ニーズが高まる中で、世界共通の基準が誕生したことには大きな意義があります。一方で、この基準を自社の情報開示にどのように実装していけばよいのか、悩まれている企業様も多いのではないのでしょうか。

そこで、国際サステナビリティ基準セミナー第1弾として、この基準についての概要や活用ポイントをISSBの小森理事にお話いただきます。また、どうすればこの基準を有価証券報告書を含む情報開示に有用に活用できるのか、機関投資家と企業それぞれの視点からパネルディスカッションにおいて議論を深めていきます。是非この貴重な機会に、皆様奮ってご参加いただければ幸いです。

【開催概要】

日時▶2023年8月29日（火）14：00～16：00（開場 13：30～）

場所▶東証ホール ※同時web視聴あり

住所 東京都中央区日本橋兜町2番1号 東証Arrows 2階

アクセス 東西線 茅場町駅(出口11) 徒歩5分/日比谷線 茅場町駅(出口7) 徒歩7分

都営浅草線 日本橋駅(出口D2) 徒歩5分/JR東京駅（八重洲中央口）徒歩20分

参加費▶無料

タイムスケジュール▶

14：00～14：05 開会のご挨拶

14：05～14：35 IFRS財団 ISSB理事 小森 博司様 ご講演

「IFRSサステナビリティ基準 — より良い意思決定のための、より良い情報 —」

14：35～14：45 休憩

14：45～15：55 パネルディスカッション

「サステナビリティ開示の高度化に向けたアクションと実践的課題」

ファシリテーター 日本公認会計士協会 テクニカル・ディレクター 森 洋一様

パネリスト (株)リクルートホールディングス 大野 美希子様

(株)リコー 羽田野 洋充様

アセットマネジメントOne(株) 浅井 哲行様、池畑 勇紀様、矢野 節子様

15：55～16：00 閉会のご挨拶

◆ご登壇者プロフィール



小森 博司（コモリ・ヒロシ） / 国際サステナビリティ基準審議会(ISSB)理事

1979年埼玉銀行（現りそなホールディングス）入行。1990年住友信託銀行（現三井住友信託銀行）に入社し、証券代行部で信託銀行として初のIR・SRコンサルティングサービスを立ち上げ、特に外国人機関投資家と日本企業との対話の仲介に注力。2015年、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）に採用後、市場運用部次長、スチュワードシップ推進課ヘッドとしてGPIFのスチュワードシップ活動およびESGの取組みを推進。PRI Japan Advisory CommitteeのChairおよびPRI Asset Owner Owner Advisory Boardメンバー、CA100+ Asia Advisory Boardメンバー等に就任し、国内外での講演および寄稿多数。2022年3月GPIF退職後、9月より現職。



森 洋一（モリ・ヨウイチ） / 日本公認会計士協会 テクニカル・ディレクター

監査法人にて、財務諸表監査、内部統制構築、サステナビリティ関連業務を経験。独立後、企業情報開示に関する助言、サステナビリティ関連の支援、排出削減プロジェクト開発等に従事。国際統合報告評議会（IIRC）、気候開示基準審議会（CDSB）等のメンバーとして、開示・保証に関する国際フレームワークや基準開発に参画。現在、日本公認会計士協会（JICPA）企業情報開示委員会委員長、サステナビリティ基準委員会（SSB）委員等を務める。



大野 美希子（オオノ・ミキコ） / 株式会社リクルートホールディングス Sustainability Transformation 部/IR 部、Director グローバル ESG 開示 規制・DEI (Diversity, Equity & Inclusion)

2018年にリクルートホールディングス入社以来、機関投資家とのESG対話・資本市場向けESG開示を牽引。現在、全社横断のESG情報開示プロジェクトとDEI推進をリード。前職では通信企業にてIR・Global M&A等に従事。日本証券アナリスト協会検定会員。ISSB Technical Reference Groupのメンバー。



羽田野 洋充（ハタノ・ヒロミツ） / 株式会社リコー ESGセンター ESG推進室 室長

1993年リコー入社。1999年より環境経営推進に携わる。欧州駐在を経て、現在、ESG情報開示、サプライチェーン対応などを手掛けている。2020-2022年、RE100 Advisory Committee委員、2022年-現在、JBMA責任ある企業活動委員会 副委員長。



浅井 哲行（アサイ・テツユキ） / アセットマネジメントOne株式会社 運用本部 株式運用グループ 国内株式ファンドマネジャー

電機メーカーの経営戦略、IR部門を経て、みずほ信託銀行に入社。国内株式アナリストとして情報通信・精密セクターを担当し、2013年より現職。



池畑 勇紀（イケハタ・ユウキ） / アセットマネジメントOne株式会社 運用本部 スチュワードシップ推進グループ ESGアナリスト

国内金融機関にて株式・債券のアナリストやファンド運用などに従事ののち、2017年よりアセットマネジメントOneで外国株式運用を担当。2018年より現職。
ISSB Investor Advisory Group および ISSB Technical Reference Groupのメンバー。



矢野 節子（ヤノ・セツコ） / アセットマネジメントOne株式会社 運用本部 株式運用グループ ESGマクロリサーチ シニアアナリスト

安田信託銀行（現みずほ信託銀行）入行、1998年よりセクターアナリスト（食品・農林水産・小売・消費財）業務に従事し、2021年より現職。アクティブ運用中心に運用部門のサステナビリティトランスフォーメーションを推進。

▶お申込みはこちら ※お申込み締切：2023年8月25日（金）

- 会場参加希望の方 <https://takara-print.smktg.jp/public/seminar/view/1014>
※会場は定員150名となります。応募状況によって、会場でのご参加は1社につき2名様までとさせていただきます。予めご了承ください。
- Web参加希望の方 <https://takara-print.smktg.jp/public/seminar/view/1047>